

水害時 避難行動マップ

多摩川洪水版

日頃からの備え

- ✓ **避難先や避難路の確認**
あらかじめ避難先や避難路を確認しておきましょう。
- ✓ **家の周りの点検・清掃**
家の周りに強風で飛ばされる物がないかなどを点検し、側溝や雨水ますなどを清掃しておきましょう。
- ✓ **非常用持出品、備蓄品の準備**
いざという時のために、自宅での備蓄品や避難する時の持出品を準備しておきましょう。
- ✓ **気象情報、河川情報の確認**
とくに台風が近づいている時などは、こまめに気象情報や河川情報を確認しましょう。
- ✓ **土のう、止水板等の準備**
地下駐車場、玄関先などに浸水のおそれがある場合は、事前に土のう等を設置しておきましょう。

令和4年3月発行
 玉川総合支所地域振興課地域振興・防災
 ☎03(3702)1603

右の地図で、自宅から避難所等までの経路を確認しておきましょう。

このマップは、国土交通省京浜河川事務所が平成28年度に公表した「多摩川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」(想定雨量:多摩川流域の2日間総雨量588mm)をもとに、台風や大雨時に多摩川の堤防が決壊し、洪水が発生した場合の浸水想定区域や浸水の深さ、洪水による家屋等の倒壊の危険がある区域を示したものです。
 また、想定し得る最大規模の降雨量に基づいたシミュレーションの結果であり、避難行動等を考えるための目安として活用していただくものです。

凡例

- 水害時避難所【第1次】**
台風接近・通過前日(24時間前)までに開設
- 水害時避難所【第2次】**
台風接近・通過当日(暴風雨前)に開設
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)**
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫が発生するおそれがあることから、早期の立ち退きが必要な区域
- 土のうステーション**

緊急時の連絡先

家族の連絡先

名前	電話番号
☎	
☎	
☎	
☎	

町会の連絡網

どなたから

お名前:

どなたへ

お名前:

お声かけする方

お名前:

☎

お名前:

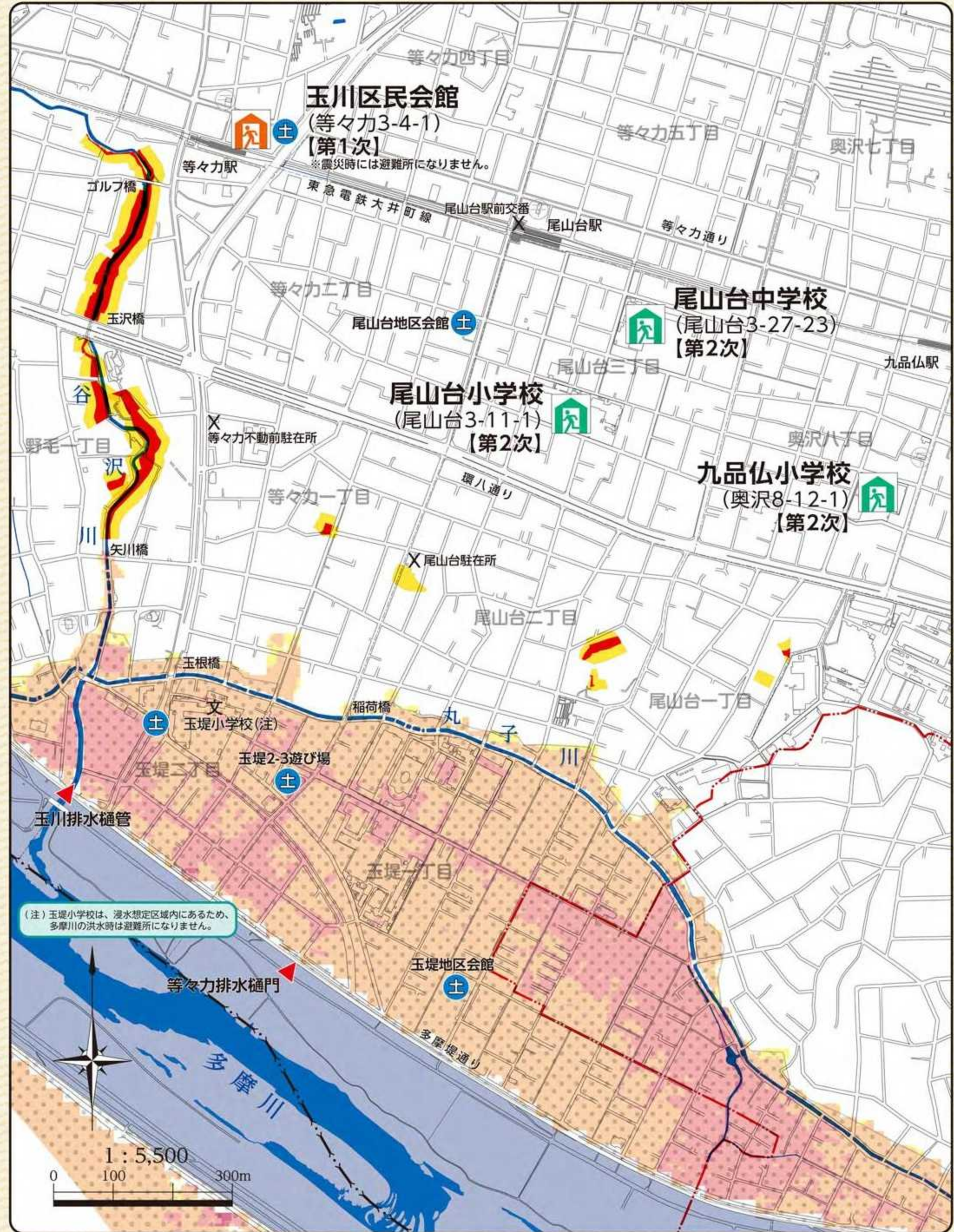
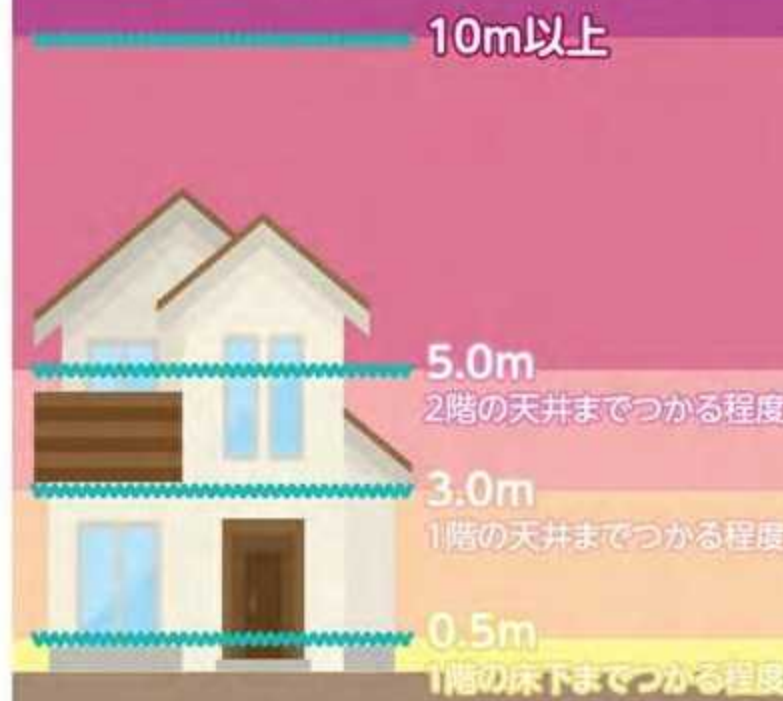
☎

浸水の深さ

- 水深10m~20m
- 水深5.0m~10m
- 水深3.0m~5.0m
- 水深0.5m~3.0m
- 水深0.5m未満



浸水の深さの目安



この地図の作成にあたっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

水害時において発令される避難情報等

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル 1	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認
警戒レベル 3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	高齢者等避難 高齢や障害等の理由で避難に時間がかかる方は、雨風が強くなる前に早めに避難しましょう。
警戒レベル 4	ひなんしじ 避難指示	全員避難! 避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始しましょう。
警戒レベル 5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命を守る行動を! むやみに外へ出ることが危険な状況です。自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動をとりましょう。

避難所に行くことだけが避難ではありません



避難所を利用する以外にも、以下のように様々な避難方法があります。これらの方法は、感染症の感染リスクを下げることにもつながります。自身や家族に合った避難方法や避難先を今一度考えてみましょう。

Point 1 自主避難

自身で宿泊施設等を確保して避難する。

Point 2 縁故避難

浸水のおそれがない家族や親戚、友人の家に避難する。

Point 3 在宅避難

自宅に浸水のおそれがない場合は自宅で過ごす。

Point 4 水平避難

避難所等の避難先へ移動すること。多摩川の洪水浸水想定区域の方は水平避難が原則。

Point 5 垂直避難

自宅の2階以上などへ移動すること。安全な場所まで避難する時間がない場合などに行う。

非常用持出品と備蓄について



非常用持出品には、避難先での感染症対策のために、以下のような物を入れておきましょう。

- アルコール手指消毒液
- アルコールウェットティッシュ
- マスク
- 体温計など



在宅避難の場合に備えて、各ご家庭において1週間程度の備蓄(食料、1人1日3ℓの飲料水、携帯トイレ、常備薬等)をしておきましょう。



避難情報や気象情報等の入手方法

テレビ

地上デジタル放送視聴時にリモコンのdボタン(データ放送)を押すと、避難情報や開設避難所の情報、気象情報等を確認できます。



世田谷区ホームページ

<https://www.city.setagaya.lg.jp/>
区の避難情報や開設避難所の情報等を確認できます。



ラジオ

<https://fmsetagaya.com/>
エフエム世田谷(83.4MHz)で、区の避難情報や開設避難所の情報等を確認することができます。



世田谷区公式ツイッター

@setagaya_kiki
フォローすると区の避難情報等に関するツイートが配信されます。



世田谷区災害・防犯情報メール配信サービス

世田谷区ホームページ内で検索
あらかじめメールアドレスを登録した方に避難情報や開設避難所等の情報がメールで届きます。



防災行政無線

屋外に設置しているスピーカーから避難情報等を放送します。なお、24時間以内に放送した内容は、0180-99-3151に電話すると確認できます。



国土交通省京浜河川事務所ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
多摩川の水位や河川ライブカメラの画像等をリアルタイムで確認できます。



東京都水防災総合情報システム

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp>
東京都が観測している降水量や河川水位情報等をリアルタイムで確認できます。



気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/>
最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度等も確認できます。



水害時避難行動判定

※以下の判定は目安です。実際の状況に応じて行動してください。

裏面のマップで自宅付近に色が塗られていますか?

いいえ

原則、避難の必要はありません。ただし、地下施設の浸水は浸水想定には反映していないため、必要に応じて垂直避難等を行ってください。

はい

自宅が2階建て以下で浸水想定が3m以上、もしくは、「家屋倒壊等氾濫想定区域」に該当していますか?

はい

浸水想定が0.5m以上に該当していますか?

はい

自宅に2階以上等の避難できる場所がありますか?

屋内待機(在宅避難)

原則、避難の必要はありませんが、地下施設の浸水は浸水想定には反映していないため、必要に応じて垂直避難等を行ってください。

垂直避難

自宅が浸水するおそれがあるので、2階以上に避難しましょう。

水平避難

自宅の2階以上まで浸水するおそれがあります。安全な場所(親戚、知人宅、水害時避難所など)に避難しましょう。しかし、屋外への避難が危険な場合や時間がない場合は垂直避難を行ってください。